

2022 年度
学修要項(シラバス Syllabus)

ICM 国際メディカル専門学校
医療秘書・医薬品アドバイザー学科

医療秘書・医薬品アドバイザー学科(医療事務総合コース)

区分	授業科目	必修 単位	年間授業時間数		合計時間数
			1年次	2年次	
共通科目	医学概論	1	20		20
	解剖学・生理学	5	75		75
	臨床医学Ⅰ	2	40		40
	臨床医学Ⅱ	4		60	60
	産科学	1		20	20
	薬理学	1		20	20
	医療情報学	1	20		20
	病院管理学	1	20		20
	医療関連法規Ⅰ	1	20		20
	医療関連法規Ⅱ	1		20	20
	医学用語	3		45	45
	電子カルテ	1		20	20
	医療秘書実務	3		45	45
	診療報酬請求(医科)	10	160		160
	診療報酬請求演習(医科)Ⅰ	7	210		210
	診療報酬請求演習(医科)Ⅱ	1		50	50
	調剤報酬	6	90		90
	医事コンピュータ実習Ⅰ	1	30		30
	医事コンピュータ実習Ⅱ	1		30	30
	コンピュータ実習Ⅰ	3	90		90
	コンピュータ実習Ⅱ	3		90	90
	DPO請求	1	15		15
	英語	3	45		45
	心理学	2	30		30
	日本語表現Ⅰ	1	15		15
	日本語表現Ⅱ	1		15	15
	コミュニケーション学	1	15		15
	就職実務Ⅰ	1	15		15
	就職実務Ⅱ	1		15	15
	医療ビューティー特論	1		15	15
	診療報酬請求(歯科)	7		110	110
	診療報酬請求演習(歯科)	3		100	100
	介護報酬	6		90	90
患者対応実習	1		25	25	
病院実習/施設実習	1		45	45	
総単位数・総時間数		87	910	815	1725

医療秘書・医薬品アドバイザー学科(登録販売者コース)

区分	授業科目	必修 単位	年間授業時間数		合計時間数
			1年次	2年次	
共通 科目	医学概論	1	20		20
	解剖学・生理学	5	75		75
	臨床医学Ⅰ	2	40		40
	臨床医学Ⅱ	4		60	60
	産科学	1		20	20
	薬理学	1		20	20
	医療情報学	1	20		20
	病院管理学	1	20		20
	医療関連法規Ⅰ	1	20		20
	医療関連法規Ⅱ	1		20	20
	医学用語	3		45	45
	電子カルテ	1		20	20
	医療秘書実務	3		45	45
	診療報酬請求(医科)	10	160		160
	診療報酬請求演習(医科)Ⅰ	7	210		210
	診療報酬請求演習(医科)Ⅱ	1		50	50
	調剤報酬	6	90		90
	医事コンピュータ実習Ⅰ	1	30		30
	医事コンピュータ実習Ⅱ	1		30	30
	コンピュータ実習Ⅰ	3	90		90
	コンピュータ実習Ⅱ	3		90	90
	DPC請求	1	15		15
	英語	3	45		45
	心理学	2	30		30
	日本語表現Ⅰ	1	15		15
	日本語表現Ⅱ	1		15	15
	コミュニケーション学	1	15		15
	就職実務Ⅰ	1	15		15
	就職実務Ⅱ	1		15	15
	医療ビューティー特論	1		15	15
	医薬品販売実務演習	1		30	30
	店舗マネジメント	1		15	15
	薬事に関する法規と制度	1		15	15
	医薬品の適正使用と安全対策	1		15	15
人体の働きと医薬品	3		45	45	
主な医薬品と作用	5		85	85	
登録販売者演習	4		120	120	
病院実習/施設実習	1		45	45	
総単位数・総時間数		86	910	815	1725

2022 年度
学修要項(シラバス Syllabus)

ICM 国際メディカル専門学校
医療秘書・医薬品アドバイザー学科 第1学年
2022 年度入学生

授業科目 臨床医学総論

【科目担当者】 阿部 時也		【実務経験の有無および経歴】 有（ 医師として医療現場に従事 ）	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 病気になる原因、先天奇形、変形および染色体異常、損傷、中毒、その他の外因の影響など臨床医学についてを総論的に理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～3	病気になる原因とは 疾病の原因 検査所見 治療方針	講義	阿部 時也
4～6	先天奇形、変形および染色体異常について 神経系の先天奇形 呼吸器系の先天奇形 消化器系の先天奇形 染色体異常、他に分類されないもの	講義	阿部 時也
7～10	損傷、中毒、その他の外因の影響 軟部組織の損傷 各部位の損傷 薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒 薬用を主としない物質の毒作用	講義	阿部 時也
【使用教科書】 診療情報管理 I 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

授業科目 臨床医学各論（消化器・泌尿器系）

【科目担当者】 小山 諭	【実務経験の有無および経歴】 有（ 医師として医療現場に従事 ）		
【単位数】 1	【時間数】 20 時間	【対象学年】 1 年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 消化器・泌尿器系の疾病を中心に、特徴、症状、診断法、治療法等について理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～5	消化器系の疾患 口腔、唾液腺および顎の疾患 食道、胃および十二指腸の疾患 虫垂の疾患 ヘルニア 腸のその他の疾患 腹膜の疾患 肝疾患 胆のう、胆管および膵の障害	講義	小山 諭
6～10	腎尿路生殖器系の疾患 糸球体疾患 腎尿細管間質性疾患 腎不全 尿路結石 尿路系のその他の疾患 男性生殖器の疾患 女性生殖器の疾患	講義	小山 諭
【使用教科書】 診療情報管理 I 日本病院会 病気の地図帳 講談社			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 診療報酬請求演習 I

【科目担当者】 高島 佐智恵		【実務経験の有無および経歴】 有（ 医療事務員として医療現場に従事経験あり ）	
【単位数】 7	【時間数】 210時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 診療報酬請求で学んだことを、カルテの問題演習で理解を深める。前期においては医療事務管理士認定試験（医科）、後期においては診療報酬請求事務能力認定試験（医科）の取得を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～4	レセプト（上書き）	演習	高島 佐智恵
5～10	初・再診料	演習	高島 佐智恵
11～15	医学管理等	演習	高島 佐智恵
16～20	投薬	演習	高島 佐智恵
21～30	注射	演習	高島 佐智恵
31～35	在宅医療	演習	高島 佐智恵
36～40	処置	演習	高島 佐智恵
41～42	リハビリテーション	演習	高島 佐智恵
43～50	検査	演習	高島 佐智恵
51～52	病理診断	演習	高島 佐智恵
53～56	手術、麻酔	演習	高島 佐智恵
57～60	画像診断	演習	高島 佐智恵
61～62	精神科専門療法、放射線治療	演習	高島 佐智恵
63～65	入院料	演習	高島 佐智恵
66～70	レセプトの点検	演習	高島 佐智恵
71～84	医療事務管理士認定試験対策（総合問題）	演習	高島 佐智恵
85～105	診療報酬請求事務能力認定試験対策（総合問題）	演習	高島 佐智恵
【使用教科書】 医科点数サポートブック ソラスト 、 診療点数早見表 医学通信社			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、チェックテスト 10%、検定（医療事務管理士および診療報酬請求事務） 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

授業科目 D P C 請求

【科目担当者】 佐藤 紀子		【実務経験の有無および経歴】 有（ 医療事務として医療現場に従事 ）	
【単位数】 1	【時間数】 1 5 時間	【対象学年】 1 年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 D P C を導入している病院が増えている中、D P C での算定方法を覚え、出来高と比較し、理解を深める。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	D P C 請求と支払のしくみ	講義	佐藤 紀子
2～3	診療報酬の算定	講義・演習	佐藤 紀子
4～6	レセプトの作成	演習	佐藤 紀子
7	変更、再入院の取り扱い	講義	佐藤 紀子
8	D P C 導入にあたって	講義	佐藤 紀子
【使用教科書】 D P C テキストセット ソラスト			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 医事コンピュータ実習 I

【科目担当者】 澤田 千賀子 高島 佐智恵		【実務経験の有無および経歴】 有（ 医療事務として医療現場に従事 ）	
【単位数】 1	【時間数】 30 時間	【対象学年】 1 年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 診療報酬請求事務で覚えた知識を医事コンピュータで応用する。外来カルテ、伝票入力をする基本的知識を学び、医事コンピュータ検定 3 級合格を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～3	医事コンピュータの基本操作	講義・演習	澤田 千賀子
4～7	カルテ形式での入力操作	講義・演習	澤田 千賀子
8～9	伝票形式での入力操作	講義・演習	澤田 千賀子
10～12	医科点数表の読みこなし（学科問題対策）	講義	高島 佐智恵
13～15	医事コンピュータ 3 級対策（総合問題）	演習	澤田・高島
【使用教科書】 「医事 NaviⅢ」操作テキスト ケアアンドコミュニケーション、医科点数早見表 医学通信社 点数サポートブック ソラスト			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、確認テスト 10%、検定試験 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 心理学

【科目担当者】 山之内 則雄	【実務経験の有無および経歴】		
【単位数】 2	【時間数】 30時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 心理学の基礎的知識及び人間心理と人間の行動について学ぶ。医療現場において患者心理を意識した行動をとれるようになることを目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	心理学の方法	講義	山之内則雄
2	発達心理学	講義	山之内則雄
3～4	精神分析学	講義	山之内則雄
5	認知心理学	講義	山之内則雄
6	行動の水準	講義	山之内則雄
7	古典的条件付け	講義	山之内則雄
8	習得的行動	講義	山之内則雄
9	意識と行動	講義	山之内則雄
10	対象物の永続性	講義	山之内則雄
11	遺伝と環境	講義	山之内則雄
12	刷り込み	講義	山之内則雄
13	記憶について	講義	山之内則雄
14	長期記憶	講義	山之内則雄
15	復習・テスト	講義	山之内則雄
【使用教科書】 心理学 編集：鹿取廣人／杉本敏夫 東京大学出版会			
【評価方法】 中間テスト 45% 期末試験 45% 課題提出・学習意欲（出席状況含む） 10% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

授業科目 日本語表現 I

【科目担当者】 高島 佐智恵		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 15時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 就職・提出書類・病院実習の場にあった表記を学ぶ。国語力・語彙力を強化する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	手紙文（お礼状等）の書き方・封筒の書き方	講義・演習	高島 佐智恵
3～5	新聞を使った学習（書き写し、要約等）	講義・演習	高島 佐智恵
6～8	就職作文（原稿用紙の使い方含む）	講義・演習	高島 佐智恵
【使用教科書】 実践ビジネスマナー ウイネット			
【評価方法】 授業態度・出席率 20%、提出物（課題）40%、期末試験 40% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

授業科目 英 語

【科目担当者】 米田 春美	【実務経験の有無および経歴】		
【単位数】 3	【時間数】 4 5時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 病院の受付での患者対応に必要な基礎的英語表現や語彙を学ぶことにより、日本語に不慣れな外国人患者が来院した際、その要望を理解し、病院側の指示を英語で伝えることができるようになることを目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	英語授業の目的、課題、試験内容、評価方法について Unit 1 急に英語で話しかけられた時対応する表現	講義	米田春美
2	Unit 2 基本情報についての質問① (名前、出身、出生地、年齢、兄弟の有無、趣味等)	講義	米田春美
3	Unit 3 基本情報についての質問②(住所、電話番号) 数字、序数、月、曜日	講義	米田春美
4~5	Unit 4 初診患者との会話 語彙①診療科名	講義	米田春美
6~7	Unit 5 病院内の案内	講義	米田春美
8~10	Unit 6 内科的症状についての質問 語彙②症状	講義	米田春美
11~13	Unit 7 怪我についての質問 語彙③身体各部の言い方	講義	米田春美
14~16	Unit 8 予診票の記入（既往症やアレルギーの有無についての質問） 語彙④病名	講義	米田春美
17~18	Unit 9 薬の飲み方の指示、頻度の言い方 語彙⑤薬	講義	米田春美
19~20	Unit 10 検査の予約、時間の言い方 語彙⑥検査	講義	米田春美
21	Unit 11 手術前の指示 筆記試験、口頭試験に向けた学習内容の総復習	講義	米田春美
22	口頭試験（患者対応に必要な英語表現を暗記して言う）	一対一の口頭試験	米田春美
23	筆記試験	筆記試験	米田春美
【使用教科書】 医学書院「クリスティーンのやさしい看護英会話」（知念クリスティーン、上瀧真紀恵 著）CD 含む			
【評価方法】 期末試験 60%、課題提出 5% 小テスト 5% 口頭試験 30% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(59 点以下)とする。			

授業科目 コンピュータ実習 I

【科目担当者】 宮崎 雅子		【実務経験の有無および経歴】 有（ 企業内インストラクター ）	
【単位数】 3	【時間数】 90時間	【対象学年】 1年生	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 講義および実習 検定試験（Word 3級、Excel 3級）合格、実務で活用できる応用力の取得			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1~5	入力、文書編集、印刷	講義・演習	宮崎
6	文書作成の基本操作 まとめ	講義・演習	〃
7~8	活用	講義・演習	〃
9	基本～活用 まとめ	講義・演習	〃
10~11	表作成、編集の基本	講義・演習	〃
12	表 実務での活用	講義・演習	〃
13~14	作図、図の利用	講義・演習	〃
15	図形まとめ	講義・演習	〃
16~22	検定試験（Word 3級）対策	演習	〃
22~26	入力、計算式の基礎、表作成、印刷	講義・演習	〃
27	表作成 まとめ	講義・演習	〃
28~29	グラフ作成	講義・演習	〃
30	環境設定、管理	講義・演習	〃
31	基本機能 まとめ	講義・演習	〃
32~37	関数	講義・演習	〃
38~40	データベース	講義・演習	〃
41~45	検定試験（Excel 3級）対策	演習	〃
【使用教科書】 Word 2016 クイックマスター 基本編 Excel 2016 クイックマスター 基本編 ウイネット			
【評価方法】 課題 40% 授業態度 20% 検定および試験 40% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

授業科目 解剖・生理学

【科目担当者】 村山 ひとみ	【実務経験の有無および経歴】 有（看護師として医療・介護・保健事業の現場に従事）		
【単位数】 5	【時間数】 75時間	【対象学年】 1年	【開講時期】前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】			
①科目概要：医療事務系職種に必要な、カルテ読み込み、レセプト作成（主病）の理解、患者理解に関連した必要最低限の基礎医学を学ぶ。			
②授業方法・内容：正体的な資格試験合格範囲を意識して、重要箇所をノートまとめ、教科書マーカー引き、各章終了ごとにチェックテストを実施。			
③到達目標：医療事務管理士、診療報酬、医療秘書検定、医師事務補助作業、診療情報管理の資格試験における基礎医学系問題を解くことができる。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	人体の各部と名称	講義	村山 ひとみ
3～4	人体の成り立ち（細胞・組織・器官・器官系）	講義	村山 ひとみ
5～6	人体の構成（染色体）	講義	村山 ひとみ
7～8	皮膚と膜（皮膚の三相構造、皮膚・粘膜・漿膜・滑膜）	講義	村山 ひとみ
9～12	運動器系（骨格系と筋系）	講義	村山 ひとみ
13～16	脳・神経系	講義	村山 ひとみ
17～20	循環器系（心臓・血管・リンパ系）	講義	村山 ひとみ
21～24	血液・免疫（血液の特徴と働き、白血球の機能）	講義	村山 ひとみ
25～26	腎・泌尿器系（血液ろ過・原尿・尿の生成）	講義	村山 ひとみ
27～30	呼吸器系	講義	村山 ひとみ
31～36	消化器系	講義	村山 ひとみ
37～38	内分泌系	講義	村山 ひとみ
【使用教科書】 診療情報管理Ⅰ 日本病院会 解剖生理学 メディカ出版 看護医学用語の読み方と意味 サイオ出版			
【評価方法】 期末試験 60%、チェックテスト 10%、レポート 10%、課題提出 10%、授業態度（出席状況含む） 10% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

授業科目 医療関連法規 I

【科目担当者】 藤縄 美弥子	【実務経験の有無および経歴】 有（医事課職員として医療現場に従事経験有り）		
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医療機関の事務職員として働くうえで必要な医療関連法規のうち、現場で必要とされる医療法、健康保健法を中心に法律と仕事との関連を理解するとともに各種資格試験に備えることを目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1~3	医療法	講義	藤縄 美弥子
4~5	従事者各法（医師法、薬剤師法など）	講義	藤縄 美弥子
6~8	健康保険法	講義	藤縄 美弥子
9	生活保護法	講義	藤縄 美弥子
10	介護保険法	講義	藤縄 美弥子
【使用教科書】 医療関連法規の完全知識 2019年版 医学通信社			
【評価方法】 期末試験 50%、確認テスト 25%、学習意欲（出席状況含む） 25% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

授業科目 診療報酬請求（医科）

【科目担当者】 木村 祐子	【実務経験の有無および経歴】 有（医事課職員として医療現場に従事経験有り）		
【単位数】 10	【時間数】 160時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 診療報酬請求（医科）の基本を身につけるとともに、9月の医療事務管理士認定試験、12月の診療報酬請求事務能力認定試験（医科）の資格取得を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1~4	医療保険制度の概要	講義	木村 祐子
5	レセプトの上書き	講義・演習	木村 祐子
6~8	初診料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
9~11	再診料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
12~15	医学管理料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
16~20	投薬の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
21~24	注射料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
25~27	在宅医療の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
28~31	処置料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
32~33	リハビリテーションの算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
34~40	検査料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
41	病理診断の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
42~46	画像診断の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
47~49	手術料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
50~52	麻酔料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
53	精神科専門療法の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
54	放射線治療の算定とレセプトの書き方	講義・演習	木村 祐子
55~65	入院料等・外来レセプトとの違い	講義・演習	木村 祐子
66~68	レセプトの点検	講義・演習	木村 祐子
69~70	公費負担医療	講義	木村 祐子
71~80	総合演習	演習	木村 祐子
【使用教科書】 医療事務講座（医科）テキスト1~3 サポートブック ソラスト 診療報酬点数早見表 医学通信社			
【評価方法】 期末試験 50%、確認テスト 25%、課題提出 15%、学習意欲（出席状況含む）10% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

授業科目 医療情報学 I

【科目担当者】 高島 佐智恵	【実務経験の有無および経歴】 有（ 医療事務として医療現場に従事 ）		
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医療情報の基礎を学び、医事コンピュータ、電子カルテへの理解につなげる。医事コンピュータ3級のコンピュータ関連知識の合格を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	コンピュータの情報表現（進数、ビット、バイト）	講義	高島 佐智恵
2	コンピュータの5大装置と機能、周辺装置の種類	講義	高島 佐智恵
3	周辺装置の種類と特徴	講義	高島 佐智恵
4	インターフェイスの種類と特徴	講義	高島 佐智恵
5	ソフトウェアの種類と特徴	講義	高島 佐智恵
6	オペレーティングシステムの種類と特徴	講義	高島 佐智恵
7	アプリケーションソフトの基本操作理解	講義	高島 佐智恵
8	保健医療情報システムの概要	講義	高島 佐智恵
9~10	医事コンピュータ3級過去問題演習と解説	演習	高島 佐智恵
【使用教科書】 医事コンピュータ関連知識 建帛社			
【評価方法】 期末試験 50%、確認テスト 25%、学習意欲（出席状況含む） 25% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

授業科目 調剤報酬

【科目担当者】 澤田 千賀子	【実務経験の有無および経歴】		
【単位数】 6	【時間数】 90時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 薬に関する基礎知識、処方箋の見方を学び、調剤報酬算定ができる。調剤事務管理士認定試験の取得を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1~10	薬の基礎知識 医薬品の基礎知識 薬物治療の概要 薬の作用と適用	講義	澤田千賀子
11~24	処方せんの見方と剤型 処方せんで使われる用語とくすりの剤型	講義	澤田千賀子
25~34	調剤報酬の算定とレセプトの書き方 算定の基本 レセプト作成	講義	澤田千賀子
35~45	調剤事務管理士検定対策	講義	澤田千賀子
【使用教科書】 調剤薬局事務講座 ソラスト			
【評価方法】 学習意欲（出席状況含む）10%、検定試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

2022 年度

学修要項(シラバス Syllabus)

ICM 国際メディカル専門学校
医療秘書・医薬品アドバイザー学科
第2学年

授業科目 臨床医学Ⅱ

【科目担当者】 小林 一広		【実務経験の有無および経歴】 有（歯科医師として医療現場に従事経験有り）	
【単位数】 4	【時間数】 60時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 精神・脳神経・感覚器系、感染症・寄生虫症、皮膚・筋骨格系の疾病を中心に特徴、症状、診断法、治療法等について理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～3	精神および行動の障害 統合失調症、気分（感情）障害、知的障害＜精神遅滞＞ 心理的発達の障害	講義	小林一広
4～6	神経系の疾患 中枢神経系の炎症性疾患、多発ニューロパチ<シ>ーおよびその他の末梢神経系の障害、脳性麻痺、神経系のその他の障害	講義	小林一広
7～8	眼および付属器の疾患 結膜の障害、水晶体の障害、緑内障、視神経および視（覚）路の障害	講義	小林一広
9～10	耳および乳様突起の疾患 外耳疾患、中耳疾患、内耳疾患	講義	小林一広
11～17	感染症 腸管感染症、結核、人畜共通細菌性疾患、性的伝播様式をとる感染症、クラミジアによる感染症、ウイルス肝炎、ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病、真菌症	講義	小林一広
18～20	寄生虫症 原虫疾患、ぜん<蠕>虫症、シラミ症、ダニ章およびその他の動物寄生症	講義	小林一広
21～25	皮膚および皮下組織の疾患 皮膚および皮下組織の感染症、水疱症、皮膚炎および湿疹 じんましんおよび紅斑	講義	小林一広
26～30	筋骨格系および結合組織の疾患 関節障害、全身性結合組織障害、脊柱障害、軟部組織障害 骨障害および軟骨障害、筋骨格系および結合組織のその他の障害	講義	小林一広
【使用教科書】 診療情報管理Ⅰ 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 産科学

【科目担当者】 徳永 昭輝		【実務経験の有無および経歴】 有（ 医師として医療現場に従事 ）	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 周産期疾病について、特徴、症状、診断法の概要を学ぶ。また妊娠から母体の変化、胎児の発育、分娩までの基本も理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～5	妊娠、分娩および産褥 妊娠から分娩までのメカニズム 流産に終わった妊娠 妊娠に関連する母体障害 分娩 分娩の合併症 産褥に関連する合併症	講義	徳永昭輝
6～10	周産期に発生した病態 妊娠期間および胎児発育に関連する障害 出産外傷 周産期に特異的な感染症 胎児および新生児の消化器系障害 周産期に発生したその他の障害	講義	徳永昭輝
【使用教科書】 診療情報管理 I 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 薬理学

【科目担当者】 弦巻 立		【実務経験の有無および経歴】 有（ 歯科医師として医療現場に従事 ）	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 臨床で使用される薬剤の作用機序、適応などを学ぶ。医療現場において薬理知識を踏まえ、適切かつ安全な治療を提供できるようになることを目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	薬理学総論、薬と法律	講義	弦巻 立
2	薬物動態	講義	弦巻 立
3	作動薬、遮断薬、薬効に影響を及ぼす要因	講義	弦巻 立
4	薬物と食物、薬物の相互作用	講義	弦巻 立
5	抗感染症薬、ワクチン	講義	弦巻 立
6	消毒薬、麻酔薬、向精神薬	講義	弦巻 立
7	パーキンソン病治療薬、てんかん薬、自律神経	講義	弦巻 立
8	末梢神経作動薬	講義	弦巻 立
9	循環器系作用薬	講義	弦巻 立
10	まとめ	講義	弦巻 立
【使用教科書】 よくわかる薬理学の基本としくみ 秀和システム			
【評価方法】 中間試験 40%、期末試験 40%、課題提出（出席状況含む）10%、学習意欲 10% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医療関連法規Ⅱ

【科目担当者】 泉 綾		【実務経験の有無および経歴】 有（診療情報管理士として医療機関に従事）		
【単位数】	1	【時間数】	20時間	【対象学年】 2年
【開講時期】後期				
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 年金、臓器移植、自賠責など医療関連法規を学び、医師事務作業補助の検定につなげる。1年次に学んだ法律については、医療秘書検定2級対策として触れ、合格を目指す。				
【授業計画】				
回数	内容		授業形態	担当
1～4	医療法		講義	泉 綾
5～6	健康保険法		講義	泉 綾
7～10	その他の関連法規 自賠責 年金制度 臓器移植法		講義	泉 綾
【使用教科書】 医事関連法の完全知識 医学通信社				
【評価方法】 期末試験 50%、確認テスト 50% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。				

授業科目 医学用語

【科目担当者】 村山 ひとみ		【実務経験の有無および経歴】 有 (看護師として医療・介護・保健事業の現場に従事)	
【単位数】 3	【時間数】 4 5 時間	【対象学年】 2 年	【開講時期】 前・後期
【科目概要 (授業の方法および内容、到達目標)】			
①科目概要：医療事務系職種に必要な、カルテ読み込み、レセプト作成 (主病) の理解、患者理解、多種職連携の医療事務系職種に関連・意識した必要最低限の用語を学ぶ。			
②授業方法・内容：正体的な資格試験合格範囲を意識して、重要箇所をノートまとめ、教科書マーカー引き、各章終了ごとにチェックテストを実施。			
③到達目標：医療事務管理士、診療報酬、医療秘書検定、医師事務補助作業、診療情報管理の資格試験における医学用語問題を解くことができる。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	医学用語の必要性／医学用語の構成要素	講義	村山 ひとみ
3～4	医学用語一年次復習／英語ドイツ語版体のパーツ	講義	村山 ひとみ
5～6	接頭語・連結、複合語・接尾語	講義	村山 ひとみ
7～8	代表的な医学用語 (教科書：末尾資料)	講義	村山 ひとみ
9～10	循環器・呼吸器用語	講義	村山 ひとみ
11～12	消化器・泌尿器用語	講義	村山 ひとみ
13～14	代謝内分泌用語	講義	村山 ひとみ
15～16	神経・感覚器用語	講義	村山 ひとみ
17～18	骨格系用語	講義	村山 ひとみ
19～20	皮膚・感染・寄生虫、精神医学用語	講義	村山 ひとみ
21～22	乳腺・妊娠・分娩・周産期用語	講義	村山 ひとみ
23	テスト前まとめ確認	演習	村山 ひとみ
【使用教科書】 診療情報管理Ⅱ 日本病院会 臨床英略語ディクショナリー メディカ出版			
【評価方法】 期末試験 70%、チェックテスト 15%、授業態度 (出席状況含む) 15% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(60 点未満)とする。			

授業科目 電子カルテ

【科目担当者】 高島・浅野		【実務経験の有無および経歴】 有（診療情報管理士として医療機関に従事）	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 電子カルテの基本操作また、医師事務作補助に必要なディクテーション能力をつける。電子カルテ検定の取得を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～3	基本動作と電子カルテ3原則 基本操作 電子カルテ3原則（真正性・保存性・見読性）の理解	講義・演習	高島・浅野
4	SOAPの理解	講義・演習	高島・浅野
5	紹介状・医療文書作成	講義・演習	高島・浅野
6～10	検定対策（電子カルテ検定）	演習	高島・浅野
【使用教科書】 「C&C電子カルテシステムII」操作テキスト ケアアンドコミュニケーション			
【評価方法】 授業態度・出席率15%、確認テスト15%、検定試験70% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医療秘書実務

【科目担当者】 泉 綾		【実務経験の有無および経歴】 有（診療情報管理士として医療機関に従事）	
【単位数】 3	【時間数】 4 5 時間	【対象学年】 2 年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 敬語、電話応対などビジネスの基本的なマナーを学ぶとともに、医療機関特有の患者応対の基礎知識を学ぶ。医療秘書検定 2 級取得を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	社会人としての心構え 職場の基本マナー 指示の受け方・報告の仕方 職場の人間関係	講義	泉 綾
2	基本動作 お辞儀（敬礼、普通令、最敬礼） 椅子の立ち方、座り方 歩き方	講義・演習	泉 綾
3～4	言葉遣いの基本 話の仕方、聞き方 敬語の基本 間違いやすい敬語	講義・演習	泉 綾
5～6	来客の応対 受付 案内 名刺の取り扱い	講義・演習	泉 綾
7～9	電話応対 受け方 かけ方	講義・演習	泉 綾
10～19	医療秘書検定 2 級対策（医療秘書実務分野）	演習	泉 綾
20～23	患者応対 患者応対の基本 ケーススタディ	講義・演習	泉 綾
【使用教科書】 実践ビジネスマナー ウイネット			
【評価方法】 提出課題 10%、ロールプレイング 10%、期末試験 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(60 点未満)とする。			

授業科目 診療報酬請求演習Ⅱ

【科目担当者】 泉 綾		【実務経験の有無および経歴】 有（診療情報管理士として医療機関に従事）	
【単位数】 1	【時間数】 50時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 レセプト作成を中心に就職してから即戦力となれるよう復習する。病院実習・就職にそなえ、実務で必要となる公費医療の実務を学ぶ。また、医療秘書検定2級取得を目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～10	実務に即した学習 公費医療の概要 レセプトの点検、作成（入院レセプト） 労災保険の概要 自賠責（交通事故）	講義・演習	泉 綾
11～20	医療秘書検定2級対策 医療事務分野	演習	泉 綾
21～25	病院・診療所勤務を想定したレセプト作成 レセプト作成（入院・外来）	講義・演習	泉 綾
【使用教科書】 医科点数サポートブック ソラスト 診療点数早見表 医学通信社			
【評価方法】 授業の出席点20%、平常点15%、確認テスト15%、期末試験50% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医事コンピュータ実習Ⅱ

【科目担当者】 澤田 千賀子 高島 佐智恵		【実務経験の有無および経歴】 有（医療事務員として医療機関に従事）	
【単位数】 1	【時間数】 30時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 1年次で学んだ医事コンピュータ3級の知識を応用し、入院での入力をマスターする。医事コンピュータ2級取得を目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～5	入力練習 外来と入院の入力の違いを理解する 手術伝票など、入院の算定に必要な伝票類の見方を知る	講義・演習	澤田・高島
6～7	コンピュータ知識の定着 コンピュータ用語の理解	講義	澤田・高島
8～9	医科点数表の読みこなし 学科試験対策	講義・演習	澤田・高島
10～15	医事コンピュータ2級対策	演習	澤田・高島
【使用教科書】 医科点数早見表 医学通信社 点数サポートブック ソラスト 医事コンピュータ関連知識 建帛社			
【評価方法】 授業の出席点10%、平常点15%、確認テスト15%、検定60% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 コンピュータ実習Ⅱ

【科目担当者】 宮崎 雅子		【実務経験の有無および経歴】 有（ 企業内インストラクターに従事 ）	
【単位数】 3	【時間数】 90時間	【対象学年】 2年生	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 講義および実習 検定試験（Excel2級、Access3級）合格、実務で活用できる応用力の取得			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	データの連携	講義・演習	宮崎雅子
2~4	データベース	講義・演習	宮崎雅子
5	グラフ応用	講義・演習	宮崎雅子
6	課題作成	講義・演習	宮崎雅子
7~10	関数	講義・演習	宮崎雅子
11~13	便利な機能	講義・演習	宮崎雅子
14~16	関数	講義・演習	宮崎雅子
17~18	高度な機能	講義・演習	宮崎雅子
19~23	検定試験（Excel2級）対策	演習	宮崎雅子
24	Access 検定の概要	講義・演習	宮崎雅子
25~28	テーブル	講義・演習	宮崎雅子
29~30	クエリ	講義・演習	宮崎雅子
31~32	関数	講義・演習	宮崎雅子
33~34	フォーム	講義・演習	宮崎雅子
35~36	レポート	講義・演習	宮崎雅子
37	<u>マクロ</u>	講義・演習	宮崎雅子
38~39	クエリ・レポート応用	講義・演習	宮崎雅子
40~41	フォーム応用	講義・演習	宮崎雅子
42~45	検定試験（Access3級）対策	演習	宮崎雅子
【使用教科書】 Excel2016クイックマスター 応用編 ウイネット Access2016クイックマスター ウイネット			
【評価方法】 課題 40% 授業態度 20% 検定および試験 40% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 日本語表現Ⅱ

【科目担当者】 泉 綾		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 15時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 就職・提出書類・病院実習の場にあった表記を学ぶ。病院実習報告会にむけたプレゼンテーションの方法（パワーポイント作成）を身につける。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	病院実習 実習生カードの書き方 実習日誌の書き方	講義・演習	泉 綾
3～4	手紙文の書き方・封筒の書き方 お礼状・依頼状	講義・演習	泉 綾
5～8	プレゼンテーション パワーポイント作成 報告会に向けたプレゼンテーションの方法 報告会準備	講義・演習	泉 綾
【使用教科書】			
【評価方法】 授業の出席点 20%、平常点（提出物含む）40%、期末試験 40% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医療ビューティー特論

【科目担当者】 岡田 花菜子 廣川 奈津子 清野 祐子 武 美幸 野村 典央		【実務経験の有無および経歴】 有（アナウンサーとしてマスメディアで活躍） 有（モデルとして活躍するほか、ミスインターナショナルなどの指導もおこなう） 有（医事課職員として医療機関に従事）	
【単位数】	1	【時間数】	15時間
【対象学年】	2年	【開講時期】	後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医療機関で働く医療スタッフとしての表情、所作、ファッションについて学び、学生に自信をもたせる。また、就職活動にも役立たせる。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	表情・話し方 気持ちを表情で伝えるコミュニケーション術 状況に応じたロールプレイング	講義・演習	岡田 花菜子
3～4	所作・動作 歩き方 お辞儀 姿勢 状況に応じたロールプレイング	講義・演習	廣川 奈津子
5～6	ファッション・着こなし パーソナルカラー診断 TPOに応じた着こなし	講義・演習	清野 祐子
7	メイク・ネイル 医療スタッフとして適したメイク、爪の手入れ	講義・演習	武 美幸
8	医療スタッフとしての心がまえ・姿勢・身だしなみ	講義	野村 典央
【使用教科書】 講師からの資料			
【評価方法】 出席率 40%、レポート課題 60% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

授業科目 患者対応実習 (医療事務・医療秘書コース必須科目)

【科目担当者】 泉 綾		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 25時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 校内にある附属はりきゅう治療院で、実際の患者の受付・会計・予約を行い、対応技術を身につける。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	附属はりきゅう治療院 院長よりオリエンテーション	講義・演習	泉 綾
3	受付対応の復習	演習	泉 綾
4～12	治療院にて患者対応 治療準備 受付 会計 予約入力 清掃・後片付け	臨床実習	泉 綾
13	まとめ(報告会)	講義・演習	泉 綾
【使用教科書】			
【評価方法】 実習評価表（5項目）による総合評価 50%、実習レポート 20%、出席状況 10%、学習意欲 20% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 介護報酬 (医療事務・医療秘書コース必須科目)

【科目担当者】 佐藤 紀子		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 6	【時間数】 90時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 介護保険法の基礎知識を学ぶとともに、居宅サービス、施設サービスを問わず、レセプト作成ができるようにする。診療報酬との関連についても理解する。 最終的には介護事務管理士認定試験の取得を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	介護保険制度のしくみ 介護保険制度の誕生～サービス提供の流れ	講義	佐藤紀子
3～4	介護報酬の特徴と原則 介護報酬の特徴と原則	講義	佐藤紀子
5～6	サービス種類の内容と算定 ① 居宅系	講義	佐藤紀子
7～10	説明関連部部のレセプト作成 訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハ・居宅療養管理指導 通所介護・通所リハ ② ショートステイ 短期入所生活介護・短期入所療養介護 ③ 特定施設入居者生活介護 ④ 福祉用具貸与 ⑤ 施設系 介護福祉施設サービス 介護保険施設サービス 介護療養施設サービス ⑥ 知識密着型サービス	講義・演習	佐藤紀子
11～12	他制度との関連 医療保険との関係、公費医療との関係	講義・演習	佐藤紀子
13～14	利用者負担 滞納者、低所得者など	講義	佐藤紀子
15～45	試験過去問題答練 問題演習／解説	演習	佐藤紀子
【使用教科書】 介護事務講座テキスト一式(ソラスト)、電卓			
【評価方法】 授業の出席天 20%、平常点 15%、確認テスト点 15%、期末試験 50% の割合で 100 点満点とし評価。 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(60 点未満)とする。			

授業科目 診療報酬請求(歯科) (医療事務・医療秘書コース必須科目)

【科目担当者】 藤縄 美弥子		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 7	【時間数】 110時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 診療報酬請求（歯科）の算定を学び、医療事務管理士認定試験（歯科）の取得を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～4	歯の知識 歯牙・口腔の構造と名称 歯式と方向用語	講義	藤縄 美弥子
5～15	点数算定の基本 基本診療料と特掲診療料 主な点数算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄 美弥子
16～20	歯冠修復 歯冠修復のあらまし 歯冠修復の種類と算定方法	講義・演習	藤縄 美弥子
21～30	傷病による治療と算定 硬組織疾患 歯髄疾患 歯周組織疾患 軟組織疾患 歯周疾患 その他の疾患	講義・演習	藤縄 美弥子
31～32	欠損補綴 ブリッジ、有床義歯	講義・演習	藤縄 美弥子
33～34	修理、再装着、未来院請求	講義・演習	藤縄 美弥子
35～55	総合練習	演習	藤縄 美弥子
【使用教科書】 歯科医療事務テキストセット（ソラスト）、プリント			
【評価方法】 提出物、検定前の模擬試験の状況、および検定試験結果を総合的に評価する 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 診療報酬請求演習(歯科) (医療事務・医療秘書コース必須科目)

【科目担当者】 藤縄 美弥子		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 3	【時間数】 100時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 診療報酬請求（歯科）で学んだことを、カルテの問題演習で理解を深める。医療事務管理士認定試験（歯科）の取得を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～4	レセプト（上書き）練習 歯の知識み 歯牙・口腔の構造と名称 歯式と方向用語	演習	藤縄美弥子
5～15	基本診療料 初診料 再診料 入院料 特掲診療料 医学管理等 在宅医療 投薬 注射 検査 画像診断 リハビリテーション 処置及び手術 麻酔	演習	藤縄美弥子
16～20	歯冠修復演習	演習	藤縄美弥子
21～30	傷病による治療と算定演習 硬組織疾患 歯髄疾患 歯周組織疾患 軟組織疾患 歯周疾患 その他の疾患	演習	藤縄美弥子
31～32	欠損補綴演習	演習	藤縄美弥子
33～34	修理、再装着、未来院請求	演習	藤縄美弥子
35～50	医療事務管理士認定試験対策（総合問題）	演習	藤縄美弥子
【使用教科書】 歯科医療事務テキストセット（ソラスト）、プリント			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、チェックテスト 10%、検定（医療事務管理士歯科） 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医薬品販売実務演習 (調剤薬局・登録販売者コース必須科目)

【科目担当者】		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】	1	【時間数】	30時間
		【対象学年】	2年
		【開講時期】	後期
【科目概要 (授業の方法および内容、到達目標)】			
登録販売者として薬店等で勤務するために必要な販売スキルを実際の現場での実習を通し身につける。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1~3	商品ディスプレイ ディスプレイの仕方、POP作成	講義・演習	現場担当者
4~7	商品管理 在庫管理、品出し、棚卸し、発注	講義・演習	現場担当者
8~9	会計 レジ打ち	演習	現場担当者
10~15	接遇 挨拶、接遇用語、クレーム処理	演習	現場担当者
【使用教科書】			
【評価方法】			
出席状況 (学習態度) 10%、現地実習 90%			
成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 店舗マネジメント (調剤薬局・登録販売者コース必須科目)

【科目担当者】		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 15時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 登録販売者として店舗（薬店）を経営するために必要な経営学を学ぶ。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	経営学 経営学とは	講義	
2～4	経営計画 経営計画 経営戦略	講義	
5～8	財務諸表 貸借対照表 損益計算書 財務諸表について 損益分岐点の見方	講義	
【使用教科書】			
【評価方法】 出席状況（学習態度）10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 薬事に関する法規と制度 (調剤薬局・登録販売者コース必須科目)

【科目担当者】		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 15時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前期
【科目概要 (授業の方法および内容、到達目標)】 薬事関係法規を遵守して医薬品を販売することができるよう、一般医薬品の販売などに関連する法令・制度の仕組みを理解し、新潟県登録販売者試験合格を目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1-2	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の目的	講義	
3-4	医薬品の分類・取り扱い等 医薬品の定義と範囲 容器・外箱への記載事項、添付文書への記載事項 医薬部外品、化粧品、保健機能食品	講義	
5-6	医薬品の販売業の許可 許可の種類と許可行為の範囲 リスク区分に応じた販売従事者、情報提供及び陳列等	講義	
7-8	医薬品販売に関する法令遵守 適正な販売広告 適正な販売方法 行政の監視指導、苦情相談窓口	講義	
【使用教科書】 登録販売者試験 テキスト&要点整理 薬事日報社			
【評価方法】 チェックテスト 30%、検定試験 70% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医薬品の適正使用と安全対策 (調剤薬局・登録販売者コース必須科目)

【科目担当者】		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】	1	【時間数】	15時間
【対象学年】	2年	【開講時期】	前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】			
医薬品の添付文書、製品表示等について記載内容を的確に理解し、購入者への適切な情報提供や相談対応に活用できる。新潟県登録販売者取得を目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	医薬品の適正使用情報 添付文書の読み方 製品表示の読み方 安全性情報 購入者等に対する情報提供への活用	講義	
3～4	医薬品安全対策 副作用情報等の収集、評価及び措置 副作用等が疑われる場合の報告の仕方	講義	
5	医薬品の副作用等による健康被害の救済	講義	
6～7	一般用医薬品に関する主な安全対策 副作用事例とその対応	講義	
8	医薬品の適正使用のための啓発活動 医薬品に関する啓発活動	講義	
【使用教科書】			
登録販売者試験 テキスト&要点整理 薬事日報社			
【評価方法】			
チェックテスト 50%、模擬試験 50%			
成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 主な医薬品と作用 (調剤薬局・登録販売者コース必須科目)

【科目担当者】		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 5	【時間数】 85 時間	【対象学年】 2 年	【開講時期】 前期
<p>【科目概要 (授業の方法および内容、到達目標)】</p> <p>①科目概要：「～薬」を構成する「～剤 (成分)」の理解・暗記を先行して実施。対症療法としての市販薬の位置づけを明確化。「～薬」を総合的に対象者も含め、注意事項にも意識しながら学習する。</p> <p>②授業方法・内容：オリジナルプリントおよび登録販売者学習の手引き・要点の教科書を利用し「薬効・副作用・注意事項」を重視。暗記先行とし、オリジナルプリントのチェックテストを細かく実施。暗記内容・覚えこみの確認を行う。オリジナル対策プリントを初回事業から配布。自宅実施を強化する。</p> <p>各章の進行は出題頻度が明確な部分から、および有名「～薬」から実施する。随時変更あり</p> <p>③到達目標：登録販売者の合格</p>			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1-3	一般用検査薬／滋養強壮保健薬 (ビタミン・ミネラル含め)	講義	
4-6	総合感冒薬	講義	
7-9	解熱鎮痛薬／鎮咳去痰薬	講義	
10-12	口腔咽喉薬／うがい薬／口内炎用薬	講義	
13-15	催眠鎮静薬／小児鎮静薬	講義	
16-18	アレルギー用薬／鼻炎用内服薬	講義	
19-21	強心薬／循環器用薬	講義	
22-24	外用薬／毛髪用薬／歯痛用薬／歯槽膿漏用薬	講義	
25-27	胃腸薬 (健胃薬) / 漢方・生薬、	講義	
28-30	胃腸薬 (制酸薬、消化酵素薬)	講義	
32-33	胃腸薬 (止瀉薬・瀉下薬・整腸薬) / 胃腸鎮痛鎮痙薬	講義	
34-36	痔疾用薬／泌尿器用薬／	講義	
37-39	婦人用薬	講義	
40-41	漢方・生薬再確認・キーワード・薬効・体格	講義	
42-43	苦手領域再確認・洗い出し・本試験準備	演習	
【使用教科書】			
登録販売者試験手引きと要点 薬事日報社			
【評価方法】			
登録販売者試験合格 50%、チェックテスト 30%、課題提出 10%、授業態度 (出席状況含む) 10% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(60 点未満)とする。			

授業科目 登録販売者演習 (調剤薬局・登録販売者コース必須科目)

【科目担当者】 村山 ひとみ	【実務経験の有無および経歴】		
【単位数】 4	【時間数】 120時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】			
①科目概要：本試験合格に向けて、解きなれ、知識の定着を目指す。			
②授業方法・内容：2・3章を重点的に強化、先行実施。2章基準を超え初めから、4章・5章に着目。苦手章のチェックを把握しながら、答練（解答・解説）自宅実施を強化する。			
③到達目標：登録販売者の合格 答練実施中に合格ラインを確保する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1-3	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
4-6	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
7-9	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
10-12	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
13-15	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
16-18	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
19-21	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
22-24	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
25-27	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
28-30	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
31-33	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
34-36	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
37-40	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
41-44	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
45-48	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
49-52	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
53-56	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
57-60	各都道府県別：最新問題実施、回答解説	演習	
【使用教科書】			
登録販売者過去問題集平成30年度版 薬事日報社 ※必要時平成29年度版も使用。			
【評価方法】			
登録販売者試験合格50%、チェックテスト30%、課題提出10%、授業態度（出席状況含む）10% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 病院実習／施設実習

【科目担当者】 各実習施設指導者	【実務経験の有無および経歴】 有（病院勤務の実習指導者）		
【単位数】 1	【時間数】 4 5 時間	【対象学年】 2 年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 前期については特定機能病院の実習をおこない、一般病院との違いを理解する。後期については実際の医療事務（登録販売者）の業務を実習することでより深く職種を理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1~15	特定機能病院 新潟大学医歯学総合病院実習 医事課を中心に、薬剤部、検査部等での実習	臨床実習	医療事務 実習指導者
16~23	医療事務（登録販売者）の実際 ・ 医事課業務 （総合受付、各科受付、レセプト業務、再来受付機の使いかた、案内等） ・ 登録販売者業務 （接客、レジ打ち、商品整理等）	臨床実習	医療事務 登録販売者 実習指導者
【使用教科書】			
【評価方法】 実習評価表（5項目）による総合評価 90%、実習レポート 10% 績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			